

# 海清

## 第27号

1993年6月6日発行  
 社会福祉法人 友愛会  
 大島保育所  
 大島福祉学園  
 友愛園  
 南川福祉学園  
 題字 理事長 角野元保

### 第13回体育大会



(大島福祉学園)

平成5年度 各施設の目標 .....	2
あの人に、この人にスポットライト .....	3
みんなの声 .....	4・5
新しい仲間 .....	5
行事トピックス・お知らせ .....	6・7
ふれあいメッセージ .....	7
虹のかけはし・でんごんばん .....	8

# 平成5年度 各施設の目標

## 実現をめざし それぞれの取組み

### 大島保育所



昨年度から行っている素足保育・リズム体操を中心に心身共にたくましい子どもに育てたいと思っています。5才児においては、労働(仕事)も取り入れ、ぞうきんがけや畑仕事に自らかかわり、作物の生育やいろんな生物とのふれあいを通じて、自分たちの生活との関係に気付かせたいと思います。

また、日々の保育の中で常に、「思いやりのある子に」という目標を忘れずに子どもたちにゆとりをもって接したいと思います。

このような目標のうえで、子どもたちと行事をつくり、一緒に取り組んでいきたいと考えています。

(主任保母)

### 大島福祉学園

よりよい暮らしの場としての施設環境、処遇の充実をいかに図っていくか。利用者、保護者、職員らが共に考え実践をしていきます。

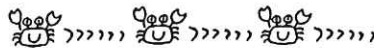
施設内において、利用者とは対等な人間関係や快適な暮らし、食事、健康などの工夫をしなければなりません。施設内行事中心を地域主催行事への参加へと社会参加や自立のあり方を見直すときでもあります。

利用者が主体となる活動は、集団、地域、子ども、友だちらとふれあいをもち、それぞれに何かを得る活動へ、自ら考え、仲間と楽しめる設定、実践を重ねていくことです。以上をふまえ取組みます。

(指導課長)



### 友愛園



昨年で『国連・障害者の十年』が終わり、今年から新たに『アジア・太平洋の障害者の十年』がスタートしました。

そこで、友愛園では『QOL(生活の質)の向上』を大きな目標として掲げました。現在、生活している中で、ちょっとしたアイデアや工夫でもっと快適に生活できると

いう点が多くあります。そういった点を入居者や職員で少しでも改善していこうと考えています。

今年はこの目標を常に意識しながら、施設での生活をよりよいものにしていくよう努力していきたいと思います。

(指導課長)

### 南川福祉学園



時の移り変わりが目まぐるしく早い今、施設内処遇においても、時と同様、いろいろな面において変わってきていると感じられます。

本年度の施設処遇の方向づけとして、入所児・者の生活の場及び

療育の場であることを再度、認識した上で、これまで積み上げられたものを見直し、時間や行事等に追い捲られるのではなく「ゆとり」のある指導を行っていきます。

また、地域の生活の中に、自然

に入所児・者が溶け込めるように出来る限り取り組んでいきたい。

(指導課長)



# あの人、この人に、 スポットライト

## 堀上三枝さん 大島福祉学園

“おばあちゃん”という愛称で親しまれている

堀上三枝さんは、学園の最高齢者です。明るい服が好きで、とても69才には見えません。白内障と大腸の二つの手術を克服し、元気よく暮らしています。

「うちは、作業している時が一番ええ」と真剣なまなざしで、箸・葉子の箱づくりを行っています。視力が弱いけれど、10年のベテランでお手のものです。若い人にも負けていません。

また、物を大切に作る人で、一枚一枚の服に思い出があり、学園一の衣裳持ちです。その中には、男物のパンツがあります。「これは、だんなのや」と照れながら教えてくれました。



## 面谷はな子さん 友愛園

今庄町出身の面谷はな子さんを紹介します。

面谷さんは努力家で毎日、朝起きると訓練室へ行き、リハビリを黙々と行っています。

また、明るく、飾り気のない性格と職員もびっくりするほどの行動力で、女性としては唯一、自治会の役員として園内外の行事などに積極的に参加されたり、入居者の意見のまとめ役としてがんばっておられます。

「役員はたいへんで困るわ」と口にすることもありますが、これからも、入居者の代表として今まで以上にがんばってほしいと思っています。



## 福井良一さん 南川福祉学園

ぼくは、この3月に隣の小浜分校を卒業した

福井良一です。この4月から学園で新たな生活が、スタートしました。作業班の仲間入りをして「マット編み・農耕・園外実習」など、新しいことばかりでみんなに励まされて頑張っています。

また、洗面当番・食堂当番も加わり大忙しです。でもマイペースをくずすことなく、みんなにどうにかついていっています。居室のメンバーも変わり、今までの学校生活のリズムと違って戸惑うことが多いけれど、期待と楽しさがいっぱい毎日を送れたらいいなあと思っています。ぼくをみんな応援して下さい。



## 大島保育所

鬼ごっこや缶蹴りなどが大好きな「古沢仁亮

くん」元気一杯な男の子です。小さな子の面倒をよく見てくれる、とてもやさしいお兄ちゃんでもあります。

いつも回りに笑顔が絶えないのは「寺沢公祐くん」とも明るい男の子です。散歩に行くと新しい道や場所を次々と発見しようとするなど冒険心一杯です。

木登りが上手で、しなやかな手足ですると登って行くのは「上本恭平くん」手先きもとても器用で、先日した切り紙遊びでは、複雑な形をした花を作っていました。保母も顔負けです。



# みんなの声

## 保護者会・自治会役員

大島保育所保護者会

中谷真一さん

昨今の福祉は、急速に迫り来る高齢化社会に対応するための老人福祉が叫ばれている反面、子どもの数が減少している児童福祉が忘れられているような気がします。

しかし、将来の高齢化社会を経済的に支えていくのは、今の子ども達なのです。社会は、ますます複雑・高度化し、競争やストレスの社会となっていくでしょうが、こうした中で心豊かな思いやりのある、立派な人間として生きていくための土台づくりは、情操豊かな幼年期にあると思います。

日頃、仕事(?)に追われ、子どもと接することのほとんどない私が、偉そうな言葉を並べましたが、この広報紙の名前のごとく、海のように青く澄んだ清らかな心の持てる子どもづくり(保護者づくり)をめざして保護者・保育所・子ども達が、手を取り合って頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

大島福祉学園保護者会

今川周助さん

“学園建設の夢”

昨年末、岐阜県陶技学園を視察研修いたしました。旧施設は斜面に建ち、階段が多く、3階及び4階建てのようでした。12月に移転

される新施設は、平地で敷地面積3,500㎡の中に鉄筋2階建てが4棟あり、各室とも現在のニーズにふさわしく、二人部屋であり、自活訓練室、娯楽室、食堂などいろいろと配慮された施設でした。完成までには、法人はもとより各団体、保護者の皆様の大変なご尽力があったと思います。

さて、学園も敷地面積2500~3000㎡を確保し、80~100人の利用ができ、各室二人部屋、訓練室、娯楽室など環境設備の充実した施設を夢見ております。この夢を実現するには、土地、資金及び現在の建物の耐用年数など山積された問題があります。私達保護者はもちろん、利用者も高齢化する中で、一日も早く、法人と保護者が一体となり、建設に努力すれば夢も実現する事ができることと思います。今年の総会において、みなさんの理解を頂きました。今後ともいろいろとお世話になりますがよろしくお願ひ申し上げます。

南川福祉学園保護者会

福井保男さん

南川福祉学園の桜の木もいまは、満開と咲きほこる今日この頃、三期六年の長期にわたり、南川福祉学園保護者会会長を務められた浜川会長の後を受け、4月から会長を引き受けることになりました。程遠いお役と思っておりましたので、役目の大きさに責任を感じて

います。

学園の職員さんをはじめ、保護者の皆様方のご理解とご協力をお願いする次第です。保護者として、一つ一つの行事を大切に子ども達の希望に満ちた学園生活が出来るように、私たちは、自分の責任を忘れることなく、子ども達の成長を見守っていきたくと思っています。

子ども達は、一日一日を大切に、明るく、楽しくをモットーに職員さんのご指導のもとで、日々成長しているように思います。子ども達が明るい学園生活を送っている姿を、肌で感じながら、保護者会活動に頑張りたいと思います。

このような私ですが、よろしくご協力をお願いします。

友愛園自治会

田中和夫さん

人居者自治会発足以来15年の歳月が経過し、今日あるのも会員と歴代役員の結果に、各地域の方々のご理解の賜ものと信じ、感謝いたしている次第です。

ここに15才立志を迎え、明日にむかい大きくはばたこうとしています。我が友愛園において発足当時を振り返れば、当園ともいろいろと話し合い協議する中、改善されつつ福祉法に基づき障害者の権利と自由参加を求め前進し、有意義な施設生活を送っている昨今です。



障害者になって初めて身体障害者療護施設がなかったらと今、思い考えると感謝の念で一杯です。

これからも、各地域の方々の暖かい心に支えられる中であって、会員の団結により自治会を邁進させていきたいと考えています。

今後とも是非ご理解とご支援を賜りますことを心からお願い申し上げます。

各位と会員のご健勝をお祈り申し上げます。



# ピクニック

## 新旭風車村



国道27号線より上中町に向かい、国道303号線に入り、福井県から滋賀県へぬけます。今津町から湖周道路を通り、約5km走ると風車が見えます。大きな風車ひとつと、それよりは少し小さめの風車がふたつ、ゆっくりまわっています。池があり、芝生が広がり、四季折々の花が植えられています。広々としたのどかな所です。

6・7月には、併設されている花菖蒲園が開園されます。あたり一面たくさんの種類の菖蒲が色とりどり咲きほこっています。

大飯町から車で約1時間、とても近く、また無料ということで、大変気軽に楽しめる所です。ただし、菖蒲園は有料です。

大人も子供も楽しめる場所で、池の周りを散策したり、お弁当を広げたり、キャッチボールなどをしたりして楽しんでいる人たちが連日にぎわっています。

また、宿泊施設もあります。オランダ気分いっぱいの外観です。

あなたも一度、青く広がる空の下、ゆっくりと立ち寄ってみませんか。

## 新しい仲間 抱負を語る

夢や希望で…

浜川 三男 さん

みなさん こんにちは！僕は4月に大島福祉学園に入り、新しい世界に飛び込み、夢や希望で胸いっぱいです。南川の仲間と離れて少し淋しいですが、これからは新しい仲間と力を合わせ、何事も真面目に取り組んでいきます。(三男)

自分の夢や希望を数多く話す三男さん、生き生きとしています。

早く学園生活に慣れ、地に足つけて、こつこつと自分の目標に向かって取り組んでいってほしいです。

あせらずに…。 (居室担当)

一海とぼくらと一

大島福祉学園事務員  
重田 裕美子

生年月日 昭和48年2月10日

趣味 特技 釣り

就職した理由 誰もが不完全で、平等であると思ひ、たりないものを補い合い、出来ない事柄を助け合いたくて。

今後の抱負 人に対する価値観を外的な条件に求めることなく、心ではかってゆく強さと、すべてを超える愛の心で、ハンディキャップをもつ人々と接していきたい。

友愛園寮母  
岡上 倫子

生年月日 昭和49年8月23日

趣味 特技 音楽鑑賞

就職した理由 姉が障害者だったということもあり、福祉にかかわりたいと思ったので。

今後の抱負 すこしでもはやく仕事を覚え、仕事に慣れて、園の人達に溶け込んでいけるようがんばりたいと思います。

友愛園寮母  
重田 満美

生年月日 昭和50年2月23日

趣味 特技 絵、剣道

就職した理由 人のためにもなるし、自分のためにもなるし、すばらしい仕事だと思ったから。

今後の抱負 毎日あせらずに、こつこつとがんばりたいと思います。人の気持ちのわかる人になりたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

# 行事 トピックス

## 花まつり

5月8日、つつじの花で飾られたお釈迦様に甘茶をかけ、お釈迦様の誕生をお祝いました。

お花の中でお生まれになり、雨が降っていたことなどお釈迦様のお話を園長さんから聞いて、一人ひとり甘茶をかけ、おかしと一緒にいただきました。

真剣なまなざしで見つめ、甘茶をかけている子どもたちを今年も一年元気に過ごせるように見守って下さいね、お釈迦様。

—びわのみ—

## 親子遠足

5月15日、青空の下、バスは一路「舞鶴グリーンスポーツセンター」へ向かい出発しました。

子どもたちが楽しみにしていた親子遠足です。自分の体より大きなリュックサックを背おいたはしやぎの子どもたち。目的地へ着くとゲームや大きなスベリ台で思う存分体を動かしました。

お昼は、おとうさん、おかあさんのつくってくれた焼そば、パーベキューで大満足の日でした。

—びわのみ—

## 吟行会

4月11日、俳句クラブのメンバー4名は若狭湾少年自然の家での吟行会に出席し、舞鶴の俳句会の方々と交流を深めました。

会場へ行くまでは景色などじっくりとながめながら一人ひとりが思い思いの俳句をつくりました。

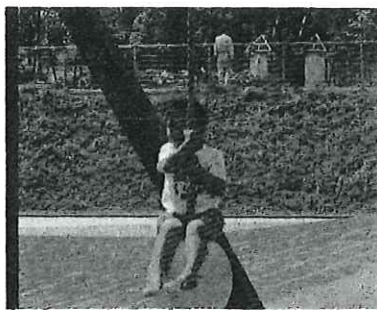
天候にはあまり恵まれませんが、いつもとは違った環境での作句でしたので素晴らしい作品ができました。

## スポーツ大会

5月9日、若狭地区身障スポーツ大会が美浜中学校グラウンドで開催されました。

雲の多い空の下でしたが、当園から参加された20人のみなさんは、車いす競走、風せんわり競走などに大ハッスル。元気いっぱいの日でした。

—くるまいす少し前進—



## 若狭マラソン

第13回若狭マラソンが4月11日(日)に小浜市で開催されました。

学園からは宮下さんが3km、洲上さん、森本さんが5kmをみごと完走されました。

約2か月間集中して練習を行い

ました。その練習法とは大島ならではの“農道”です。上りあり下りありのかなりハードな道を約7km。最初のうちは筋肉痛で涙をみせながらの練習でしたが徐々に自信がついていったようです。

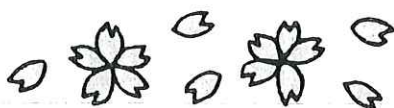
当日、走り終えた3人はすがすがしい笑顔を見せてくれました。

—海とぼくらと—





# お花見



今年は、いつもの年とは違い、桜・椿・つつじ・菖蒲とそれぞれが選んだ花の名所へ花見に出かけました。

天候にもまずまず恵まれ、きれいに咲いた花を見ながら、昼食を食べました。のんびりとした雰囲気の中、楽しい時間をすごすことが出来ました。

今回は、下見から計画まで入居者で行ったので、花見の実施は有

意義なものとなりました。

—くるまです少し前進—



園の人達にもこやかに楽しくひとときを過ごさせていただきました。

—海とぼくらと—

4月8日(木)、大島保育所のかわいい園児さんを招き、お花見会を開きました。園の人達はせっかく来てくれるのだからいい天気になってとやきもきしていましたが、この日はあいにくの悪天候で二～三分咲きの桜花も淋しそうに風に揺れていました。そういう訳で昼食は花のないところでいただきましたが、行儀が良くしかも賑やかな園児さんは、まさに花そのもの。



# おしらせ

## 体育大会

6月13日(日)、第13回南川福祉学園体育大会が開催されます。

今年も昨年同様、楽しい種目をたくさんとり入れていきたいと思っています。乞、御期待下さい。

—キリンさんからのメッセージ—

## 夏まつり

今年も、例年開催しています友愛園夏まつりを計画しております。

日程等はまだ決まってはいませんが、開催の際はぜひご参加下さい。お待ちしております。

—くるまです少し前進—

## おとまり保育

子どもたちが最も楽しみにしているおとまり保育。キャンプファイヤー・花火・海水浴場での遊泳などの他に自分たちの手で料理をつくって食べます。楽しみにね!

—びわのみ—

# ふれあい メッセージ

富田 洋明 さん

第一回目の交歓会の時である。場所は嶺南養護学校分校体育館で高浜町ジュニアリーダーズクラブメンバーが待つ中へ園生が入場していきました。園生はやや緊張気のような様子。しかしそれ以上にリーダーのみんなも緊張しているのが手に取るように感じられ、これからのゲーム交流はどうなるのか

と心配していました。ゲームが始まると手を取りあって無我夢中でいつもと同じように遊ぶ子、緊張のまま手をつなぐことも出来ない子…。

当時、小学5～6年だった子ども達が、中学・高校生となり6目を迎える交流の指導を果たしています。一年に一度の交流ですが当初の頃のおよそさもなく、お互いを理解し合える交流になりつつあるように感じられます。昨年青葉山青少年旅行村の交流では、園生の楽しい歌声や明るい笑顔も見受けられ、うれしく思いました。

この経験を積み重ねながら、園生が自主的な行動が出来る交流になっていければと期待しています。

6月に行う予定の交歓会では、大勢の園生の参加を楽しみにしております。

● 昨年の交歓会より



—キリンさんからのメッセージ—

# 出エのかけはし (1月～4月)

## ◆大島福祉学園

### ✎奉仕・交流

岡崎弘明(正視堂)・高浜町モ  
ラロジー婦人部・高浜町婦人福  
祉協議会・高浜町3Gコンサー  
ト実行委員会

### ✎寄付

寄付金…小泉秀夫(神戸市)  
絵画…原勝実(佐久市)  
衣類…小谷助左エ門

## ◆友愛園

### ✎奉仕・交流

中名田冠句会・若狭地区冠句会  
猿橋統流子・田茂谷老人会・粟

野中学校・買物ボランティア・

森順三

### ✎寄付

布団乾燥機…小林キクエ

寄付金…浄土真宗本願寺派若狭

組仏教婦人会連盟

代表 鹿野薫証

## ◆南川福祉学園

### ✎奉仕・交流

吉川さん他2名・高浜町モラロ  
ジー婦人部

(敬称は略させていただきます)

ありがとうございました。

## コレクトルーム



### 幼児語

幼児期に使う片言や特有な言葉  
のことです。

たとえば、ワンワン(犬)やプー  
プー(自動車)などの擬音・擬声語、  
おめめ(目)やはいはい(這う)など

の社会的慣用語、おんま(馬)やお  
くち(口)など「お」をつけたやさし  
い表現、おひさま(太陽)やぞうさ  
んなどの擬人的表現があります。

ただし、ちえんちえ(先生)やて  
ーび(テレビ)など音韻の脱落や不  
完全なものは、幼児語とは区別す  
ることがあります。これらは、幼  
児の聴覚や構音器官の未熟さ、心  
理的特性の影響が考えられるとい  
われています。



## ♥退職

次の方が退職されました。ごく  
ろうさまでした。

村上真由美(南川福祉学園)

…3月31日付

## ♥採用

新しく次の方々が採用されまし  
た。よろしく願いいたします。

重田裕美子(大島福祉学園)

…1月1日付

寺本芳郎(大島福祉学園)

岡上倫子、重田満美(友愛園)

…4月1日付

## ♥異動

次の方が異動されました。

谷口泰子(南川福祉学園に)

…4月1日付

(敬称略)

## ♥編集部から

今回からは、利用者の日々の“動き、や“思い、を数多く伝えられるよう、また、いろんな人が紙面に登場してもらうことで、施設からの一方通行にとどまらず、取り巻く人たちのコミュニケーションの場となるように、各施設の紙面上の枠を取り除きました。

行事などの記事は後尾に次のように記していきます。

びわのみ(大島保育所)

海とぼくらと(大島福祉学園)

くるまです少し前進(友愛園)

キリンさんからのメッセージ

(南川福祉学園)

## 編集後記

そろそろ海や山の恋しい季節となりました。汗が太陽のもとに光っています。

「海清」第27号をお届けします。

海清も7年発行させていただきました。施設紹介、行事が主な紙面であったようです。今回より、利用者の生活を重きにおいた紙面になるよう努めていきます。

福祉ニーズはますます高まりつつありますが、「施設の役割とは」常に問いかけ変化に対応していかなければなりません。海清がみんなのものとなるような紙面作りをしたいと思っています(谷口)

